

# カレックスモデル Carex Model

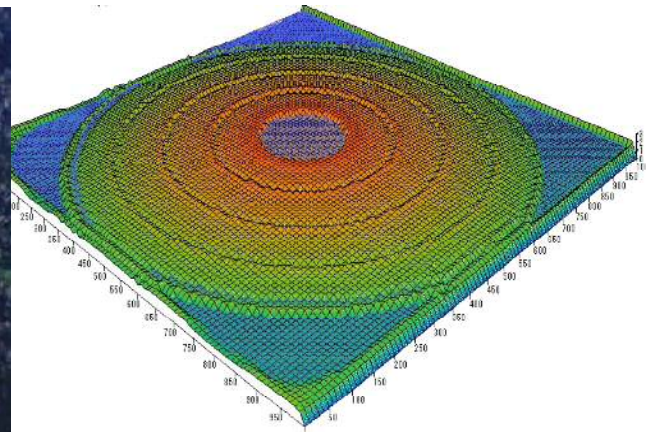
(高位泥炭地形成モデル)

～高層湿原のかたちの謎を解く～

日時 平成28年 12月10日(土) 15:00～17:00

場所 札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学クラーク会館 3階大集会室

講師 岡田 操 先生



岡田先生は、高位泥炭地に見出される独特で多様な微地形パターンの形成過程を説明するために、カレックス・モデル (Carex Model) を開発された。これは植物の生育環境を媒介として、地形の変化を捉えようとするかなりユニークな手法です。今回は、湿原の景観が湿原の水環境そのものを象徴していることについてお話しいただく。またモデルの多様な機能を利用すれば湿原環境の保全・修復・再生などに際して定量的な予測・計画の強力な手段となりうることなどにも触れていただく。

## 岡田 操 講師 略歴

1949.8 栃木県宇都宮市生まれ  
1968.3 栃木県立宇都宮高等学校卒業  
1975.3 北海道大学工学部応用物理学科卒業  
1983.8 操縦士  
1991.2 技術士  
1985～ 北海道の湿原の調査・研究  
1989～ 桜堤の調査・研究  
1969.4～1987.4 個展開催多数  
2003～ 釧路湿原自然再生協議会委員  
2003～ 上サロベツ自然再生協議会委員  
2007～ インドネシア国中部カリマンタン州 JICA 派遣技術者  
2008～ 北海道大学非常勤講師

## 岡田 操 講師 著書

『図説 日本の湿地』2016.9 朝倉書店  
『サロベツ湿原と稚咲内砂丘林帯湖沼群』  
2014.11 北海道大学出版会  
『湿地の博物誌』2014.11  
北海道大学出版会  
『支笏湖の人と自然』2007.9  
支笏湖の水とチップの会  
『北海道の湿原』2007.5  
北海道新聞社  
『北海道の湿原と植物』2003.3  
北海道大学図書刊行会  
『写真集・北海道の湿原』2003.3  
北海道大学図書刊行会